

地教連ニュース

2003-9-17

事務局 エルムアカデミー 〒142-0053 品川区中延 5-6-14-2f
03-3784-5676 Fax03-3784-5609 elm@kiwi.ne.jp
Yzwhiro@m78.com (矢沢：地教連事務局担当)
地教連ホームページ [hppt//www.tamagaku.com/chikyoren](http://www.tamagaku.com/chikyoren)

11月9日(日) 岐阜市にて

暉峻淑子(てるおか・いつこ)さんの講演会とシンポジウム

10月26日(日)に地教連として秋の研究交流集会を企画していました。しかし、同じ時期に、岐阜の中川さんが中心になり、「べんぼすた」が暉峻淑子(てるおか・いつこ 埼玉大学名誉教授)氏をお呼びしての集会を開催することが知らされました。このことを受けて、常任委員会は、岐阜の集会を地教連、秋の研究交流集会として位置づけ、協賛することにしました。その理由は会員アンケートから地方での集会開催が望まれていること。また、内容的にもこの会が地峡連の研究集会の内容としてふさわしいものとの判断からです。

なお、集会后、「べんぼすた」の部屋をお借りして地峡連の交流会を企画しております。何かとお忙しい時期とは思いますが、ぜひご参加下さるようお願い致します。

記

不登校を考える講演会とシンポジウム

「不登校からの旅立ち」 新しい生き方考えるー

日時 2003年11月9日(日) 10:00 ~ 16:30

場所 岐阜県民文化センター未来会館 ハイビジョンホール

講師 暉峻淑子(てるおか・いつこ)さん

プログラム

9:45 開場・受付開始 10:00 開会

10:15~12:00 不登校・青年のシンポジウム

シンポジスト：「コスモ」、「べんぼすた」と岐阜県内の青年たち

12:00~1:00 昼食休憩

1:00~2:30 暉峻淑子さん講演

2:30~2:40 休憩

2:45~4:30 佐藤洋作さんと暉峻淑子さん対談及び質疑応答、各地からの報告

主催：「べんぼすた」親の会・「べんぼすた」賛助会 / 後援：岐阜市教育委員会

協賛：自然学舎真塾 子どもの人権ネットワーク・岐阜 地域教育連絡協議会

連絡先：中川(058-229-1150)

「べんぼすた」親の会 <http://www.ne.jp/asahi/benposta/gifu/> e-mail: benposta@infoseek.jp

この催しは「独立行政法人福祉医療機構」(子育て支援基金)の助成を受けて行われます。

(同封のチラシをご参照下さい)

紹介

暉峻淑子(てるおか・いつこ)

1928年大阪府生まれ。法政大学大学院博士課程を修了し、現在は埼玉大学名誉教授。専攻は生活経済学。著書には、『豊かさとは何か』(岩波新書)、『ほんとうの豊かさとは』(岩波ブックレット)、『サンタクロースってほんとにいるの?』(福音館書店)などがあります。

暉峻淑子 最新著書 豊かさの条件(岩波新書 新赤版 836) 本体 740円

あらためて言うまでもないことですが、日本は不況の真っ只中。出口も見えてきそうにありません。政府は「構造改革」の旗の下、市場主義化を進めることで、この泥沼から這い出そうとしていますが、本書の著者、暉峻さん曰く、この方法は、「人間性と、生活の価値を否定することによって解決」するようなもの。これでは、豊かな社会を築き上げることはできません。

前著の『豊かさとは何か』が刊行されたのは、バブルの絶頂期だった1989年のことでした。そのときに暉峻さんが問題にした日本社会の状況は、14年経った今、どうなっているのでしょうか。本当の豊かさを私たちが手にするには、何が必要なのでしょうか。

今回の本で焦点が当てられているのは、暉峻さんご自身が関わった国際NGO活動です。国境を超えて人びとが助け合う、その活動の中に暉峻さんは希望の光を見出します。それが、私たちの求める豊かさにとって、どんな意味をもつと考えられるのか、この本の核心部分は、そこにあるようです。(新書編集部 小田野耕明) ~岩波書店HPから~

11月9日 午後5時より 地教連交流会を開催致します

なお、当日、集会終了後午後5時から、場所を「べんぼすた」に移動して、地教連交流会を行います。軽く夕食もとりながら歓談形式で、ざっくばらんに語り合う会にしたいと思います。昼の講演会は参加できなくても、こちらだけの参加でも構いません。時間は2時間程度を予定していますので、関東・関西圏の方も日帰りできますので、こちらの方の参加もよろしくお願ひします。

子育て文化協同 ちば集会

ー 昨年は岐阜、昨年は大阪で開催された子育て・教育集会です。今年は千葉大学（JR西千葉駅下車）で開催されます。11月29日（土）は全体会、30日（日）は分科会とまとめの会になります。分科会のひとつは「中野子ども空間」（珊瑚さん）が子どもたちの居場所についての分科会を開きます。興味関心のある方はぜひご連絡下さい。

詳細は次号にご連絡します。

日程：11月29日～30日

場所：千葉大学教育学部

問い合わせは先は

NPO文化学習協同ネットワーク 佐藤洋作

TEL-0422(47)8706, FAX-0422(47)8709

メール：center@npobunka.net

会費納入のお願い

地教連では会費が財源の大部分を占めています。ご協力をよろしくお願いします。

会費の払い込みは年度切り替えではなく、払い込みから1年間を有効とさせて頂いています。

振込先：郵便局の総合口座 記号10030 口座番号64626421 地域教育連絡協議会

郵便局の総合口座をお持ちの方はお近くの自動振り込み機械から手数料130円で振り込めます。

団体会費 10000円（専任職員が2人以上いる団体に適用）

個人会費 4000円

賛助会費 2000円

学生賛助会員 1000円

会費の納入のない方は、ニュース等の配付を停止させていただきます。

引き続き 地教連会員アンケートご協力をお願い

7月に配布しましたアンケートは、現在、10団体より返送をいただいております。（返送されたものは別紙にてお配りします）

しかし、その他の塾や団体からは返送されていません。会員全体の意見を集約するためにも、引き続きこのアンケートの回収に取り組みます。9月中には30団体以上の集約をする目標たてて、常任委員会では取り組んでまいります。

大変お忙しいこととは存じますが、ご協力を重ねてお願いいたします。

2003地教連会員アンケート

本アンケートはすべて記入形式です。なお、欄が小さい場合は別紙での回答でもかまいません。

貴塾・貴団体名

代表者もしくは担当者名

tel

fax

メールアドレス

ホームページURL

地教連では情報交換および情報発信を今後とも続けていくつもりですが、どのような情報を求めていますか。（例：いわゆる教育情勢；教育改革の方向性や民間の動き、NPOに関する情報、塾に関する教科や内容や経営などの情報）

貴団体は地域・行政との結びつきはありますか？

貴団体と学校との結びつきはありますか？

地教連の今後の活動にどのようなものを求めていますか？

（例：教科研究活動、実践交流活動、経営交流活動、教育情勢研究活動など）

1参加しやすい企画および話の聞きたい講師などがいらっしゃいましたらご記入ください。（なお、すぐに実現できなくとも、今後の例会などの参考にさせていただきます。）

その他ありましたご自由にお書き下さい。

お忙しいなか、大変ありがとうございました。送付先は以下です。

〒142-0053 品川区中延 5-6-14-2 F エルムアカデミー

fax：03-3784-5609

mail：yzwhiro@m78.com

